

熊本地震で学んだこと

益城町立益城中学校 1年 山崎 美優

熊本地震は、今から約2年前の4月14日、16日に起きました。そこで、私
が実際に体験したことを話していこうと思います。

私は、ある日、家のリビングで家族と一緒にいつものように話していると「ガ
タッ」という音がしました。するとその後、急に大きな揺れが私達をおそいまし
た。私は、その時何が起きているのか分かりませんでした。それが、4月14日、
前震があった日の出来事でした。私達は、一度車に移動し、そのまま車中泊をし
ました。翌日、4月15日になりました。私は、家の中に入り一安心。そのまま
一日が過ぎて、あっという間に夜になりました。もしもの事があるといけないと思
い、私は、いつものなりの部屋で寝ている祖父を呼び、リビングで家族全員で
眠りにつきました。

「きゃあああああ。」

大きなさけび声で私は目を覚ましました。すると何ということでしょう。家が
昨日よりもすごい勢いで揺れているではありませんか。そこには、棚の中の物が
落ちる音や食器が割れる音、母や父のさけび声が響きわたっていました。私は怖
くて、その場でうずくまっていました。これらの出来事を経験して、学んだこと
は、「命の大切さ」と「自然災害はいつくるか分からない」ということだと思いま
す。

私の家族は皆無事だったのですが、今回の熊本地震では、たくさんの尊い命が
傷つけられました。しかし、この命も「予防」をすることで、おとさなくて済ん
だかもしれません。例えば、家族で、災害が起きた時避難する場所を決めておい
たり、すぐに家から避難できるよう、必要な物をまとめておいたりするだけで
も、もっとたくさんの命が救われていたと思います。

そして、忘れてはいけないのが、たくさんの国や地域から支援して下さった方
々の存在です。いろいろな支援物資を送って下さったり、「頑張れ」と書かれたメ
ッセージカードなど、ほかにもたくさんのものを届けて下さいました。これらの
思いのこもったメッセージが私達の落ち込んだ気持ちを引き上げてくれたのだと
思います。

私は今、中学1年生になりました。2年前の小学5年生の時に経験した熊本地
震も、昨日の事のように思い出せます。この思い出は、「思い出したくない思い出
」であることと共に、「忘れてはいけない思い出」でもあると思います。これか
ら、どんなにつらいことが起こっても、「命の大切さ」や「たくさんの方々に支援
してもらったこと」などを思い出し、乗り越えていきたいです。